


山 行 報 告 書

山行報告提出者：鈴木聖

山 域・山 名： 劔 岳 (2,999m)		富山県立山町
入山日：2020年8月1-3日 (土-月) 2泊3日		
プラン担当者 正： 鈴木聖 副：		左下：一服劔 中央左：前劔 右：劔本峰
参 加 者	L：報：記：鈴木聖 蓑島、佐藤な	
	男 1名、女 2名、計3名	
天候：8月1日 晴れ 8月2日 晴れ 稜線上は風あり 8月3日 曇り		
8月1日 (土)	集合時間：1日(土) JR大宮駅 各自の指定席集合 5号車1ABC 北陸新幹線大宮駅6:54 発はくたか551号乗車-黒部宇奈月温泉駅着8:58 9:25 発バス乗車-11:50 室堂着、12:15 出発-13:05 雷鳥平-15:35 別山乗越-16:45 劔沢着(テント泊) 行動4h30m	
8月2日 (日)	2:00 起床 3:45 出発-5:15 一服劔-6:30 前劔-8:45 劔岳- 11:00 前劔-12:30 一服劔-13:45 劔沢(テント泊) 行動10h00m	
8月3日 (月)	5:00 起床 6:40 出発-8:15 別山乗越-9:45 雷鳥平-11:20 室堂 バスで美女平、ケーブルカーで立山、富山地铁で富山駅、新幹線で大宮へ帰宅、 JR大宮駅着19:59 行動4h40m	
荒天候時のエスケープルート：8月1日 小屋屋泊に切り替えるか、山行中止し引き返す。 8月2日 登頂中止し停滞か雷鳥平に戻る。8月3日 室堂へ戻る。		
装 備 と 食 糧	共同装備：二人用テント一式(蓑島、佐藤)、ソロテント、補助ロープ(8mm x 15m)、 スリング4本、環カラビナ4個、ツェルト、浄水器、ラジオ、新聞紙(以上鈴木)	
	共同食：車提供者：なし	
感 想	個人装備：ヘッドランプ(予備電池)、雨具、コンパス、地図、替衣類、シュラフ、エアマット、 水、帽子、グローブ、スパッツ、ヘルメット、チェストハーネス用スリング、 環ピナ2個、ストック、軽アイゼン、サブザック、ストーブ一式、クッカー、 (コロナ対策)マスク、ハンドジェル、	
	個人食：食事 x 7 (8/1 昼夜、8/2 朝昼夜、8/3 朝昼) プラス予備食、行動食	
8月1日：待ちに待った梅雨明けと同時に山行が実行でき、久々の本格登山ということもあり 胸は躍る。新幹線、室堂行きバスとも乗客は定員の1割ほどでガラガラ。室堂から歩を進め るが、地獄谷では風向きのせいか硫黄臭でむせ返りそうになり、足早に雷鳥平へ下降した。 8月2日：縦バイ渋滞を避けるため3:45 夜明け前に出発、空の色が刻々と変わるコバルト アワーに歩くことは至福のひとつである。縦バイは渋滞なく、メンバーもあっさりと通過。 日和田やジムなど諸兄の指導が効果的であることを全員実感した。帰路の横バイは足の置き 場がわかるようステップに赤ペンキが塗ってあり、高度感はあるものの難所とは言い難い。 久々の本格山行で疲労が強かったため、コース短縮し劔沢にて連泊した。 8月3日：黒部平-扇沢への下山路を変更し室堂へ向かった。曇りで雷鳥のお出ましかと期待 したがなかなか現れず。室堂につく寸前、観光客もいるようなあたりでなんと親子連れが登場。 写真を取ってくれと言わんばかりのポーズを連発する雌親には、GO TO キャンペーン の一環かと思ってしまったのは勘繰りすぎか。		